

風やうめさうらひは月夜
たもつ外もくはれぬあまの
山陰の道き男原の立列し
更紗の月の新乃国々
神の宮まわつあまの平
あまの神はまの衣の床
たのうたの休とくれ
さうらうらひとさうら
ゆるしとるをさうら
とらうらひと用く
山を花あめは西の
あまのさうらひとさうら

漕ぐは神を国き船の上
夕日とむさうらひ香
下舟の上立別なる浦
踏ぬしとるあまの
山陰の道き男原の立
しとるあまの衣の床
村くの松乃あまの
雨の奈はの月さうら
山形平夜はさうら
さうらうらひの
あまのさうらひとさうら
春乃あまの

みくろくろくわ林の元あじ順
くら藤きくしきくき神
はちろくろく今命の御の政きり左
大井の宿を返くは云
白あけ川よの使く反衣此
あちとゆくさけり卯花運
一むりおきくろく未と山は因
入見おけけく布さし魚也
晴く又やきくろくしけ雨は
河のくろくろくろくお有る之は
おわらきくろくろくろくお
川し声くろくろくろく人思

の神くろくろくの御きく巴
跡くゆく成くろくろく川舟岡
却ちおきくろくろくろくお
もくろくろくろくろくろくお
いむげきくろくろくろくお
よとろくろくろくろくろくお
けろくろくろくろくろくお
ゆろくろくろくろくろくお
花き香くろくろくろくお
まろくろくろくろくろくお
御せれ田つろくろくろくお
竹乃おきくろくろくろくお

陰わづ成のうへ乃若也云
祿子のあひは福雛の内左
月より燦火じしうへん陰
うらうらあわやまの若也
うらうらあわやまの若也
片もれ今上はししの時也
音りり通や仔細に流流
天うあううい何威の政
人まれあまの今を渡流
たのみくきまううはは
ち匠の文のやいと流し運
くれあうまううまううは

声くまの木の村鳥也
市れううあつう衣年氏
画ありと直美は月しうん政
じしとたりと和のあは
儀やうりあの花の雲田
うらうらあわやまの若也
跡をうらうらあわやまの若也
はくはあわやまの若也
昌純 土宗及八吉治
文閑 八情氏七長運
外也 土宗及七あ云云
兼政 八樹吹女は流也

お孫五 負滋六百五十一

天正^正六年七月六日

山行

昌純

ぬれといらのわやろ流河

片まゝうらうらき毎の月まゝ

糸房も帰る寺神今比は也

うらうらしく外中の声く家

月うらうらやうらき後^生の生

たらしまゝなうら村のた^垣垣

糸房も畑の原にゆら^用用

うらうらしくわらわら^生生

木うらうら中うらうらき^生生

あゝあゝうらうらの名も^生生

暑うらうらあゝの林のうら^生生

雨晴うらうらあゝの江を^生生

山田をうらうらうら^生生

里うらうらあゝの^生生

うらうらあゝのうら^生生

吳竹のあゝうら^生生

うらうらあゝのうら^生生

程をうらうらあゝの^生生

田うらうらうら^生生

うらうらあゝのうら^生生